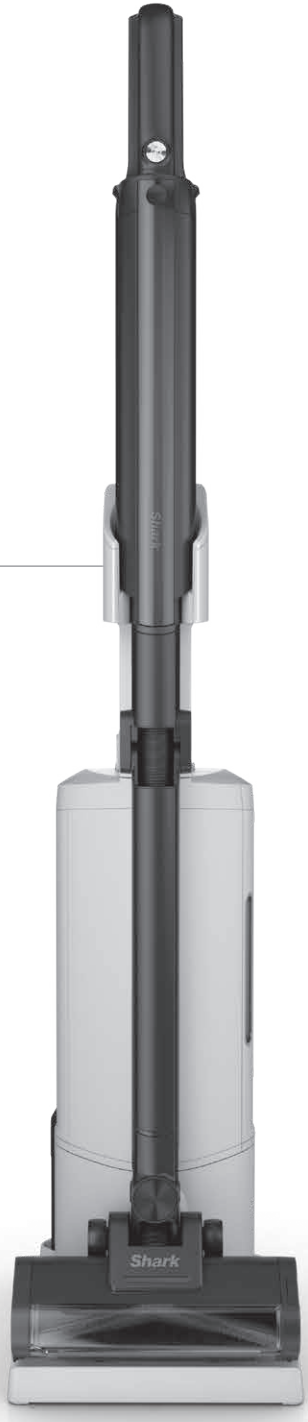
Shark
ACTICLEAN

コードレス スティッククリーナー

LC900J
LC950J

取扱説明書



Shark コードレススティッククリーナーを お買い上げいただきありがとうございます。

■ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。

■この取扱説明書は大切に保管してください。

■ご使用の前に、製品の保証登録を行ってください。
製品登録の方法については本書の裏面をご覧ください。

本取扱説明書の対象形式：LC900J / LC950J

仕　様

電源 …… 50Hz／60Hz
電源方式 …… AC100V
定格消費電力 …… 260W

最長連続運転時間

	ハンディクリーナーでの利用時	コードレススティックでの利用時（フローリング）
ブーストモード	6分	7分30秒
iQモード	6分～42分	7分30秒～36分
エコモード	42分	36分

充電時間 …… 約3.5時間
使用時の質量 …… 約1.6kg※(LC900J)
約1.8kg※(LC950J)
寸法（長さ）
・ハンディクリーナーのみ …… 510mm
・パイプおよび電動フロアノズル装着時 …… 1040mm

※ハンディクリーナーにバッテリー、パイプ、電動フロアノズル装着時

目次

はじめに
安全上のご注意 …… 4
同梱物 …… 7

準備
組み立て方および各部の名称 …… 8
充電の方法 …… 10
自動ゴミ収集ドックの使用方法 …… 11
リチウムイオンバッテリーについて …… 12
各モード表示について …… 12

使い方
使用方法 …… 13
お掃除の方法 …… 14

お手入れ
自動ゴミ収集ドックのダストカップを空にする …… 16
ハンディクリーナーのダストカップとフィルターの清掃 …… 17
自動ゴミ収集ドックのフィルターのお手入れ …… 18
電動フロアノズルのお手入れ …… 18
ゴミ詰まりの点検 …… 19
トラブルシューティング …… 20

その他
交換部品とアクセサリー …… 21
保証と登録 …… 22
・保証書 …… 22
・購入証明書等貼付欄 …… 23
・製品登録 …… 24

安全上のご注意

本製品は家庭用です。業務用や掃除以外の目的に使用しないでください。お使いになる方や他者への危害と財産の損害を防ぐため、お守りいただきたいことを説明しています。

⚠ 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの
⚠ 注意	誤った取り扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

🛇	してはいけない内容（禁止事項）
❗	実行しなければならない内容（強制事項）

⚠ 警告

感電・けが・故障の原因

🛇

- **本製品を業務用や掃除以外の目的に使用しない**
- **電源プラグを無理に押し込んだり、コンセントに差し込めるように改造しない**
- **本製品や電源プラグを濡れた手で取り扱わない**
- **本製品が通常どおりに動作しない場合や、本製品を落とした場合、破損させた場合、屋外に放置した場合、浸水させた場合は使用しない**

故障・感電の原因

🛇 **本製品の部品は、フィルター（HEPAフィルターを除く）、ブラシロール、ダストカップを除き、水などの液体にさらさない**

けが・故障の原因

🛇

- **身体能力、感覚能力、思考能力が低下している場合、単独での使用は避ける。経験や知識が十分でない場合（子供を含む）、単独での使用は避ける**
  - ・安全に責任を負える人の監督、指導のもとで使用してください。
- **子供のおもちゃとして使用しない**
  - ・保護者による監視のない状態でお子様が本製品の清掃やメンテナンスを行うことはおやめください。
- **本製品を、椅子やテーブルなどの不安定な場所に置いたままにしない**

火災・けが・故障の原因

🛇 **本製品およびバッテリーの改造や修理をしない。改造または破損している場合は使用しない**

けが・やけどの原因

🛇 **バッテリーを乱暴に扱わない**
- ・電解液が漏れ出すことがあります。この液体は炎症ややけどを起こす可能性があるため、触れないでください。液体が皮膚や衣類に付着した、目に入った場合は、水で洗い流したあと直ちに医師に相談してください。

火災・故障の原因

🛇 **以下のものを吸い込まない**
- ・液体
- ・大きい物
- ・固い物や鋭利な物（ガラス、釘、ネジ、コイン、石など）
- ・大量の粉塵（乾式壁の粉、暖炉の灰、燃えかす、小麦粉など）。粉塵回収用電動工具のアタッチメントとして使用しないでください。
- ・煙や火の出ている物（熱い炭、たばこの吸い殻、マッチなど）
- ・引火性または可燃性の物質（軽油、ガソリン、灯油など）
- ・有毒性物質（塩素系漂白剤、アンモニア、排水管洗浄剤など）

火災・爆発の原因

🛇 **本体およびバッテリーを火気や130°C（265F）以上の温度にさらさない**

⚠ 警告

火災・感電の原因

🛇 **電源コード、電源プラグが傷んだり、コンセントへの差し込みが緩いときは使用をしない**

火災・感電・故障の原因

🛇 **電源コードを傷つけない、無理に曲げたり、引っ張らない。束ねて使用しない**
- ・電源コードが損傷した場合はシャークニンジャカスタマーサポートまでご連絡ください。

火災、けが、感電、故障の原因

❗

- **本製品はハンディクリーナー（以下「掃除機」）、パイプ、電動フロアノズルで構成されており、これらの構成部品には電気端子や配線、可動部品が含まれるため使用の際には十分注意する**
- **本製品は必ず取扱説明書の説明に従って使用する**
- **付属のバッテリーは本製品専用のバッテリーのため、充電に関するすべての指示を十分に読み、指示に従う**

けが、感電の原因

❗ **掃除機と、パイプ、電動フロアノズル、自動ゴミ収集ドック、バッテリー、その他の電気的に接続されるパーツを着脱する際は、あらかじめ必ず本製品の電源を切る**

火災、故障の原因

❗ **Shark製充電ドックXDCKLC900Jを使用する。バッテリーはXBAT330JPを使用する**

火災、やけど、けが、故障の原因

❗ **バッテリーは、クリップ、コイン、鍵、釘、ネジなど、金属製のものから離して保管する**

火災、けがの原因

❗ **本製品専用のShark純正リチウムイオンバッテリーのみを使用する**

⚠ 注意

けが・故障の原因

🛇

- **ダストカップ、フィルターおよびブラシロールが正しく装着されていない状態で使用しない**
- **動作中はブラシロールおよび掃除機の全開口部に髪の毛、顔、指、素足、ゆったりした着衣を近づけない**
- **以下の場所では使用しない**
  - ・薄暗い場所
  - ・水分を含んでいる、または湿気を帯びた床面
  - ・屋外
  - ・密閉されており、爆発性または有毒性の煙や蒸気を発生する物質（軽油、ガソリン、灯油、塗料、シンナー、防虫剤、可燃性粉塵など）が存在する可能性のある場所

けが・故障の原因

❗

- **本製品を使用する前に、必ずすべての部品を点検し、破損がないことを確認する。部品が破損している場合は、使用を中止する**
- **交換部品は破損した部品と同一のもののみを使用する**
- **誤動作を防ぐため、掃除機を持ち運ぶ際には、電源を必ず切り、電源ボタンに指が触れていないことを確認する**

⚠注意

故障の原因

🚫	**Shark純正のフィルターやアクセサリー以外は使用しない** ・非純正品を使用した場合は、保証の対象外となります。
	電動フロアノズルやアクセサリーの吸入口や開口部に異物を詰めない ・吸気の流れを妨げるゴミやほこり、髪の毛、その他の異物は取り除いておいてください。
	本製品の吸入経路をふさいだ状態で使用しない ・異物が詰まっている場合は掃除機の電源を切り、すべての異物を取り除いた後で、再度電源を入れてください。
	本製品を電源が入った状態で放置しない
	カーペットなどのお掃除中は、本製品の電源が入った状態で手を止めない ・カーペットの繊維にダメージを与える可能性があります。
	バッテリーの寿命を保つため、3℃(37.4F)未満または40℃(104F)以上の温度となる場所に保管しない
	バッテリーの温度が5℃(40F)未満または40℃(104F)以上となる状態で充電しない
❗	**お掃除中や日常のお手入れで、ブラシロールに絡んだ髪の毛や繊維、糸くずを切る際は、誤ってブラシを切らないよう注意する**
	フィルターは、電気部品に水が入らないように、必ず完全に乾燥させてから本体に取り付ける
	本製品およびアクセサリーは3℃(37.4F)未満にならない屋内で保管する。使用の際は本機が室温になっていることを確認する

感電、故障の原因

🚫	**水やその他の液体の吸い込みには使用しない**

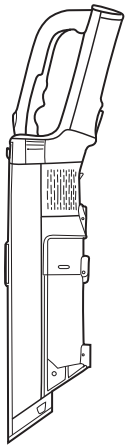
けがの原因

🚫	**ヘッドライトの青色の光源を直接見つめたり、他の人の目に直接当てない** ・青色の光が直接目に入ると有害な場合があります。
❗	**階段での掃除を行う場合は、足元に注意する**

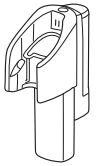
同梱物

※イラストは実際の製品と多少異なる場合があります。

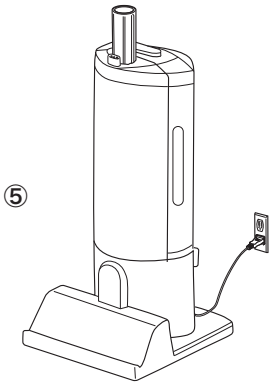
①



④



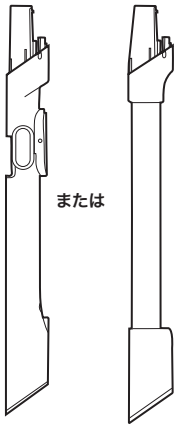
⑤



⑥

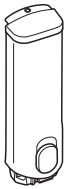
※イラストはブラシを引き出した状態です。

② フレックスパイプ　パイプ



※ご購入の製品によりパイプの形状が異なります。

⑦



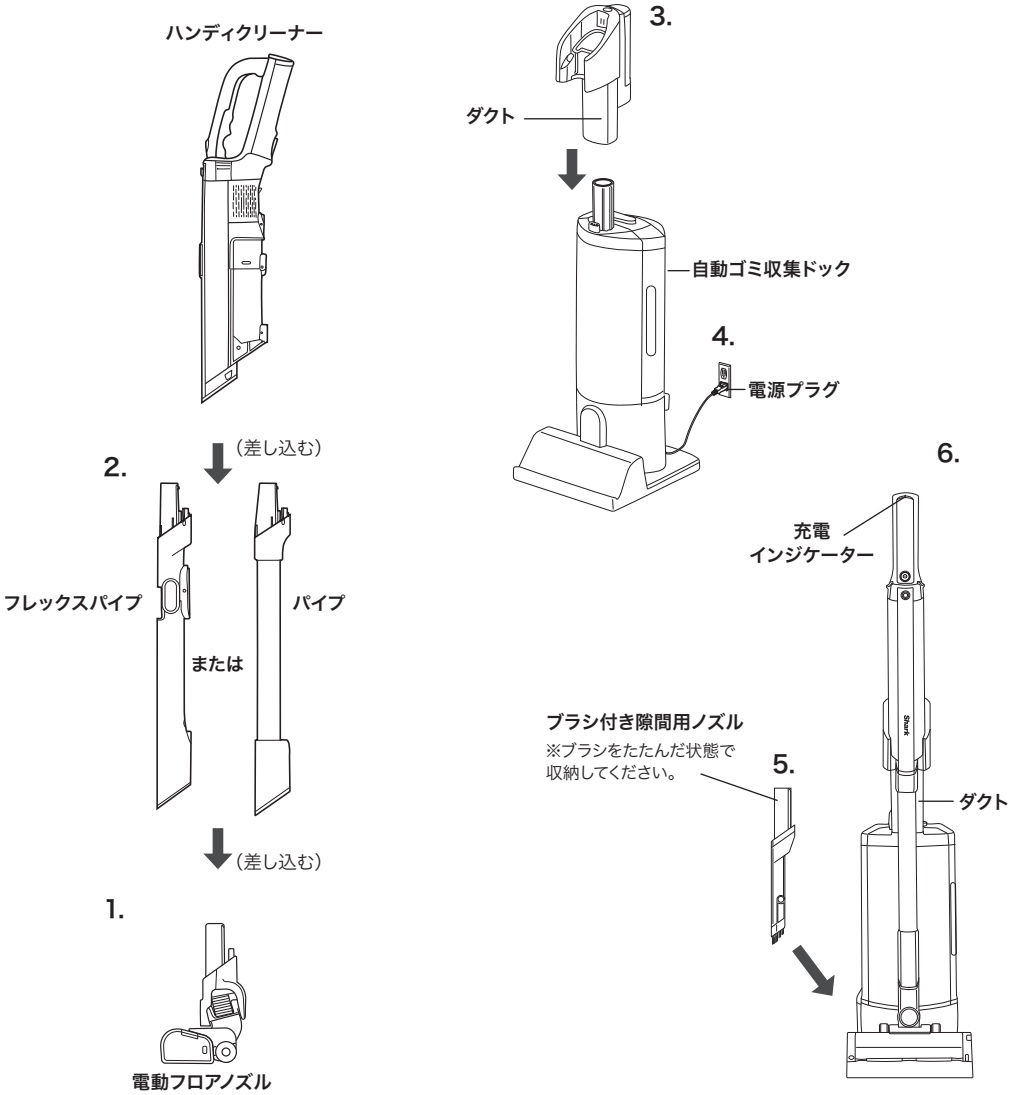
※出荷時、バッテリーはハンディクリーナーに装着されています。

③

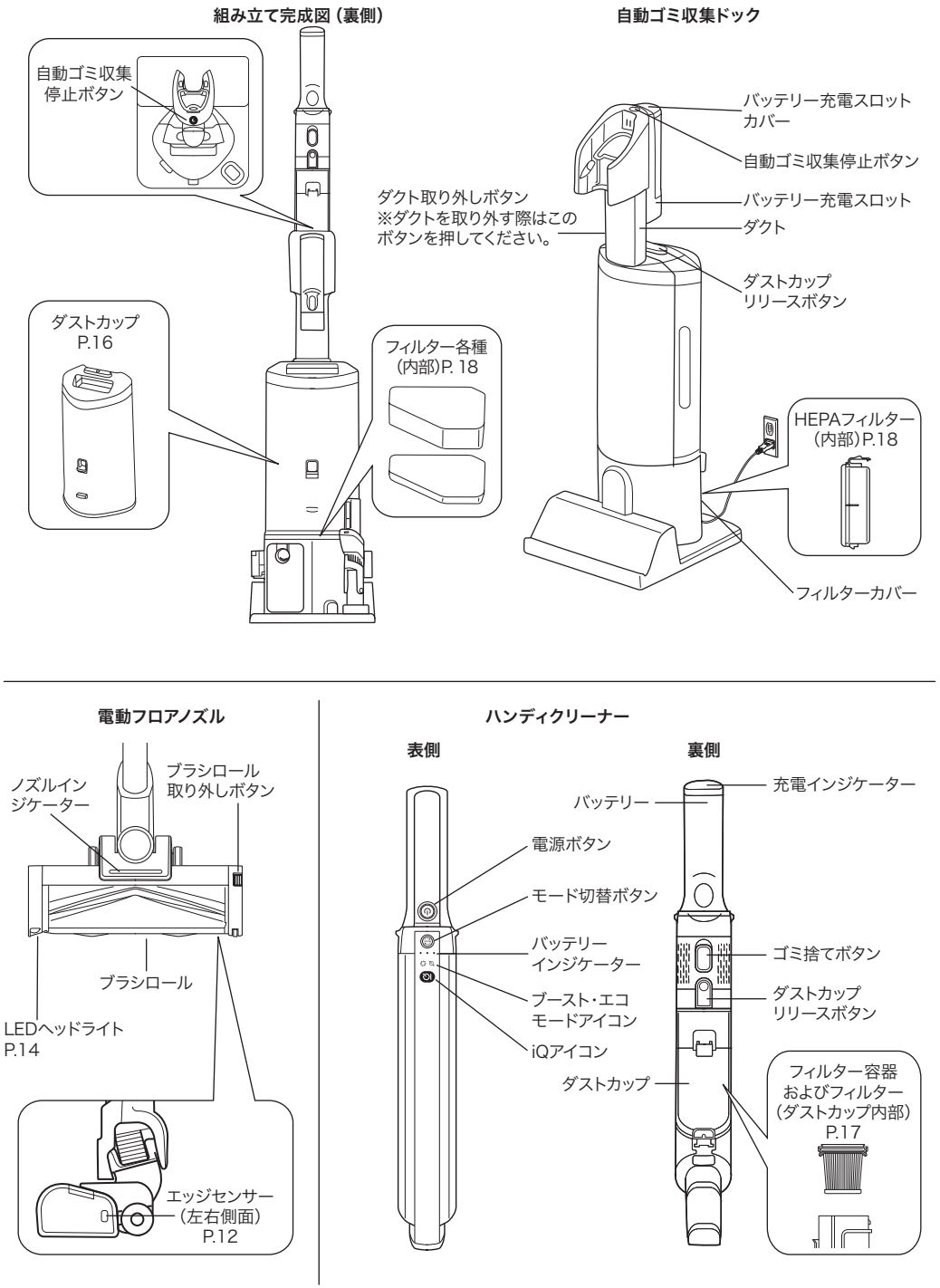
①ハンディクリーナー
②パイプ(LC900Jに付属)
　フレックスパイプ(LC950Jに付属)
③電動フロアノズル
④ダクト
⑤自動ゴミ収集ドック(充電機能付き)
⑥ブラシ付き隙間用ノズル
⑦バッテリー

組み立て方および各部の名称

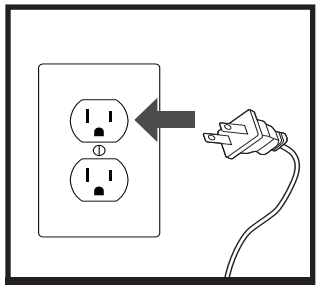
1. パイプを電動フロアノズルに差し込みます。
2. ハンディクリーナーをパイプに差し込みます。本機が正しく機能するよう、すべてのパーツはカチッと音がするまで差し込み、しっかりと固定されるようにしてください。
3. ダクトを自動ゴミ収集ドックに差し込みます。
4. 自動ゴミ収集ドックを壁面にコンセントのある場所に設置し、電源プラグをコンセントに差し込みます。自動ゴミ収集ドックは背面が壁に接するようにして平らな所に設置してください。また熱を発するヒーターのそばに置かないでください。
5. 自動ゴミ収集ドックの正面に向かって左奥にブラシ付き隙間用ノズルを収納します。
6. 組み立てた掃除機の裏面にあるフック（ダストカップ部）を、自動ゴミ収集ドックのダクトに掛けるように置くと、バッテリーの充電インジケーターが点滅または点灯します。
同時に自動ゴミ収集ドックのチャイム音が鳴り、ゴミの自動収集が一回行われます。



組み立て方および各部の名称（つづき）

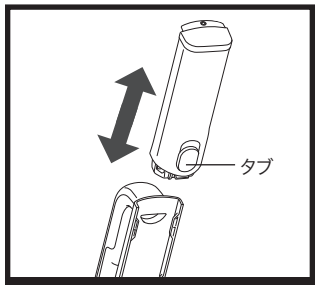


充電の方法



電源を入れる

自動ゴミ収集ドックの電源プラグを壁面などのコンセントに直接差し込みます。自動ゴミ収集ドックが組み立てられ、電源が接続されていれば、掃除機は自動ゴミ収集ドックに置くだけで充電されます。

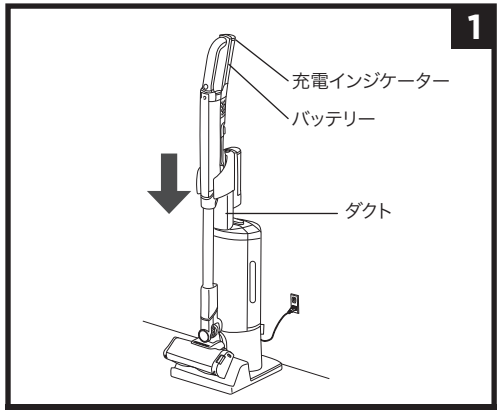


バッテリーの付け外し

バッテリーを取り外す場合は、バッテリーの側面にあるタブを押しながら、バッテリーを引き出します。取り付けるにはバッテリーを元の位置に差し込みます。

バッテリーの充電方法

バッテリーの充電には以下の2つの方法があります。充電中はバッテリー天面の充電インジケーターが黄緑色にゆっくり点滅します。充電が完了すると充電インジケーターが緑色に点灯し、満充電後5分程で消灯します。

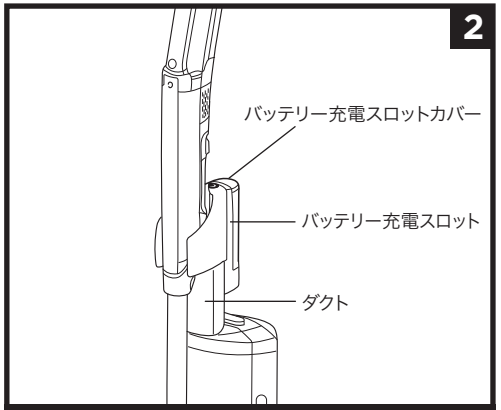


自動ゴミ収集ドックに置いて充電

充電方法1：自動ゴミ収集ドックに置いて充電

掃除機のパイプ裏面にあるフックをダクトに掛けるように置き、バッテリー天面の充電インジケーターが点灯または点滅することを確認してください。

掃除機を使用する際は、持ち上げるように自動ゴミ収集ドックから外します。



バッテリー充電スロットに置いて充電

充電方法２：バッテリー充電スロットに置いて充電

ダクト背面のバッテリー充電スロットカバーを上方向に引っ張って取り外し、バッテリーをバッテリー充電スロットに差し込むと自動的に充電されます。バッテリー天面の充電インジケーターが点灯または点滅していることを確認してください。

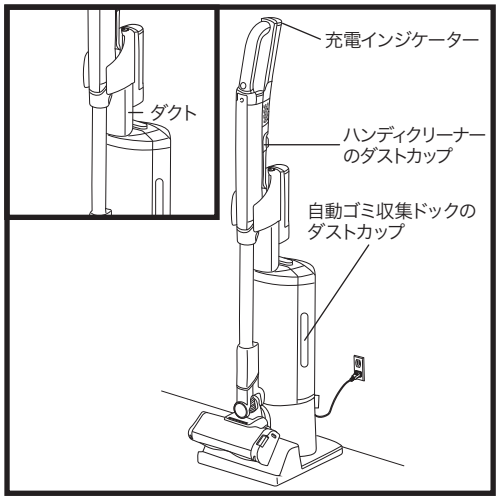
※本製品に予備バッテリーは付属していません。バッテリーのご注文についてはsharkninja.jpをご覧ください。

注: 購入時のバッテリーは、半分ほど充電した状態で出荷されています。動作可能時間を最大限に延ばすため、はじめてのお掃除前に、バッテリーを完全に充電してください（約3.5時間かかります）。使用開始後は常に充電状態にしておいても、バッテリーの寿命が損なわれることはありません。

注：充電インジケーターが点灯または点滅するまで数秒かかることがあります。

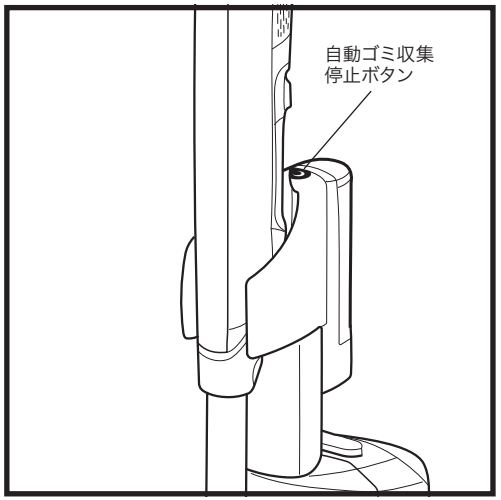
注: 自動ゴミ収集ドックでバッテリーを2本同時に充電する場合は、ハンディクリーナーに装着されたバッテリーが満充電になった後、バッテリー充電スロットの充電が開始されます。

自動ゴミ収集ドックの使用方法



掃除機を自動ゴミ収集ドックのダクトに掛けて収納します。正しく収納されるとバッテリー天面の充電インジケーターが点滅し、ハンディクリーナーのダストカップにたまったゴミが、自動ゴミ収集ドックのダストカップに収集されます。

ゴミの自動収集は約10秒間継続します。



通常、掃除機を自動ゴミ収集ドックに戻すたびに、ハンディクリーナーのダストカップ内のゴミが自動ゴミ収集ドックに収集されます。

「自動ゴミ収集」機能の停止

ゴミの自動収集機能をオフにする場合は、自動ゴミ収集ドックのダクト天面にある「自動ゴミ収集停止ボタン」を押してください。アイコン（◐）が点灯している間は、掃除機を自動ゴミ収集ドックに戻しても自動収集は行われず、充電のみが行われます。

また、掃除機を自動ゴミ収集ドックに置いた状態で「自動ゴミ収集停止ボタン」を約2秒長押しすると、1サイクル（約10秒間）ゴミ収集を行うことができます。

収集後は、再びオフの状態に戻ります。

「自動ゴミ収集」機能の再開

ゴミの自動収集を再開するには「自動ゴミ収集停止ボタン」を押してアイコン（◐）を消灯させてください。

注：自動ゴミ収集を行う前に、ハンディクリーナーの電源を切ってください。

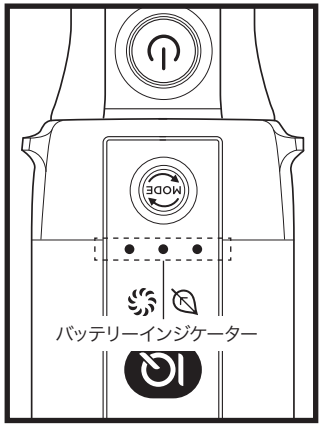
注：自動ゴミ収集中は、掃除機を自動ゴミ収集ドックから外さないでください。

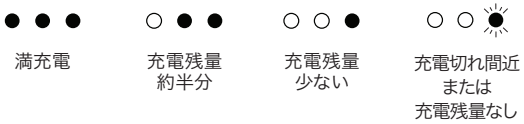
注：購入時のバッテリーは、半分ほど充電した状態で出荷されています。動作可能時間を最大限に延ばすため、はじめてのお掃除前に、バッテリーを完全に充電してください（約3.5時間かかります）。使用開始後は常に充電状態にしておいても、バッテリーの寿命が損なわれることはありません。

リチウムイオンバッテリーについて

はじめてのお掃除前には、バッテリーを完全に充電してください。初回の充電完了までには、約3.5時間かかります。

バッテリーインジケーターによる使用中のバッテリー残量表示





※バッテリー充電時はバッテリーインジケーターは点灯しません。
充電状況の確認方法はP.10「バッテリーの充電方法」を参照ください。

リチウムイオンバッテリーのリサイクルについて

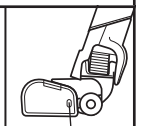
リチウムイオンバッテリーを交換する場合には、お住まいの自治体の回収ルールに基づいて処分またはリサイクルしてください。お住まいの地域によって、リチウムイオンバッテリーの回収方法が異なります。処分するバッテリーは、リサイクル協力店、または、お買い上げの販売店までお持ちいただくか、お住まいの自治体にお問い合わせの上、リサイクルにご協力お願いいたします。

注: シャークの充電式バッテリーの充電可能容量は、一般的なリチウムイオン電池と同様、新品時の100%に対して、経年変化によって自然に減少していきます。

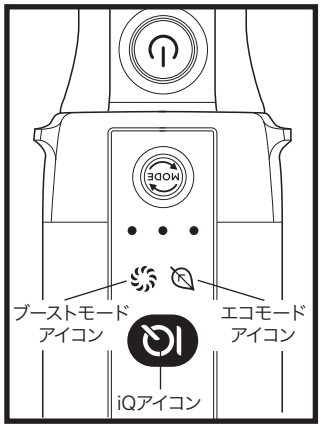
各モード表示について

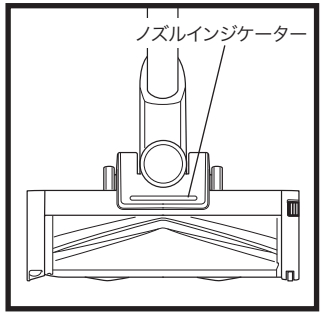
電源を入れるとiQモードになります。また、掃除シーンにあわせてブーストモード、エコモードをお選びいただけます。

iQモードでは、3つのセンサーが環境にあわせて自動で吸引力やブラシロールの回転速度を調整し、効率的にお掃除できます。

iQゴミセンサー	検知したゴミの量に応じて吸引力を自動調整し、効率的にゴミを吸い取ります。ゴミの量に応じてiQアイコンとノズルインジケーターの色が変わります(P.13)。	
フロアセンサー	フローリングやカーペット、畳などの床タイプを検知して、それぞれの床に合わせてブラシの回転速度を自動制御します。	
エッジセンサー	壁際や部屋の角を識別して吸引力をアップし、たまったゴミを強力に取り除きます。 注: エッジセンサーの動作について ・電動フロアノズルを装着し、かつiQモード選択時のみ作動します。 ・センサーの特性により、光を吸収または反射しにくい色や素材にはエッジセンサーが反応しない、または反応しにくい場合があります。	 エッジセンサー

各モード表示について(つづき)





iQモード(標準)

本機には、目に見えないゴミやほこりまでも検知するiQゴミセンサーが搭載されています。iQモードでご使用の場合、検出されたゴミやほこりの量をiQアイコンとノズルインジケーターの色が変わることでお知らせします。

iQアイコンとノズルインジケーターの表示

ゴミやほこりが多い場合:赤色

ゴミやほこりが少ない場合:緑色

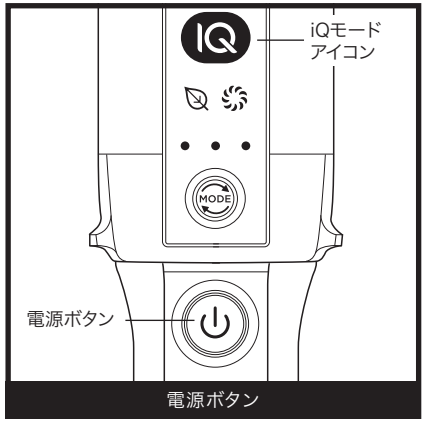
注: 掃除機の電源を入れた直後はiQアイコンの色がデフォルトで緑色になり、しばらくして実際のゴミやほこりの量に応じた色表示に変わります。

注: 掃除機の電源を入れるとデフォルトでiQモードになります。

ブーストモード
ブーストモード時に点灯します。

エコモード
エコモード時に点灯します。

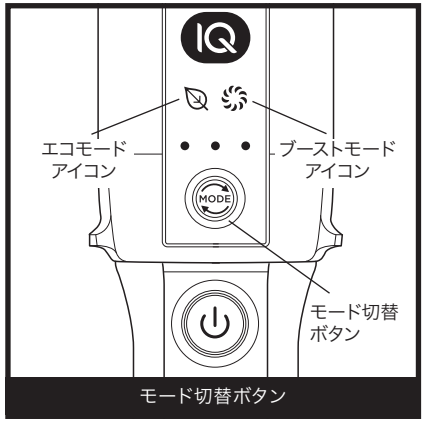
使用方法



電源ボタン

掃除機の電源を入れるには、ハンディクリーナーの持ち手にある電源ボタンを押します。電源を切るには、もう一度電源ボタンを押します。

掃除機の電源を入れるとデフォルトでiQモードになり、iQモードのアイコンが点灯します。



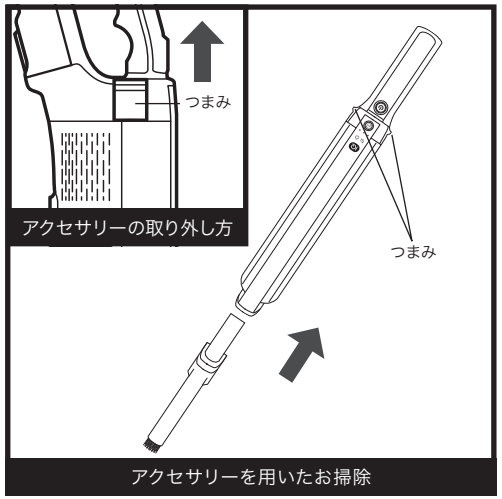
モード切替ボタン

モード切替ボタンにタッチすると掃除モードを切り替えられます。

ブーストモード時はブーストモードのアイコンが点灯し、エコモード時にはエコモードのアイコンが点灯します。

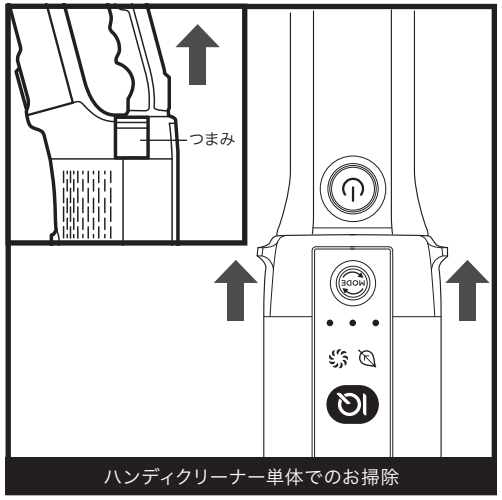
電動フロアノズルを用いた床面のお掃除

フローリングから畳、カーペットまで、あらゆるタイプの床をパワフルにお掃除できます。青色のLEDヘッドライトが床のゴミやほこりを照らし出して見えやすくし、取り残しを防ぎます。



アクセサリーを用いたお掃除

アクセサリーを使用する場合は、カチッと音がするまで差し込んでからご使用ください。取り外す際は持ち手の両側にあるつまみを引き上げながらアクセサリーを抜きます。

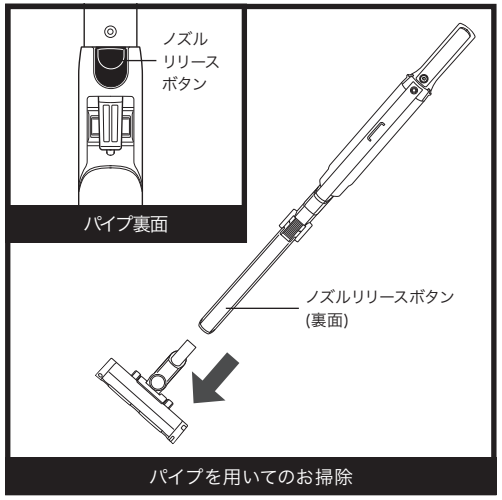


ハンディクリーナー単体でのお掃除

ハンディクリーナー単体でもお使いいただけます。家具の上などのゴミやほこりを手早く簡単にお掃除できます。

ハンディクリーナーからパイプを外すには、持ち手の両側にあるつまみを引き上げながらパイプからハンディクリーナーを引き抜きます。

ハンディクリーナーを再度パイプに取り付けるには、パイプ上端に角度を合わせ、カチッと音がするまで差し込みます。



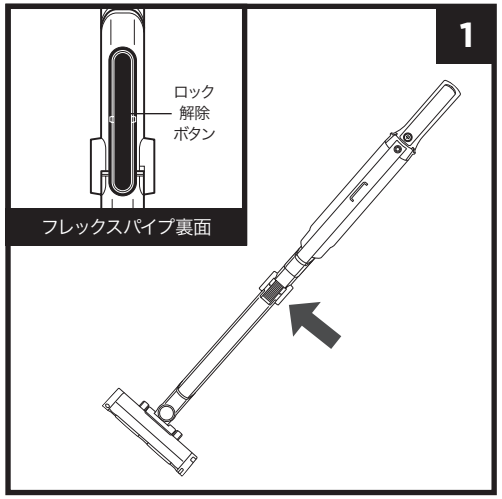
パイプを用いてのお掃除

手の届きにくい場所をお掃除する際は、直接パイプで吸引してください。

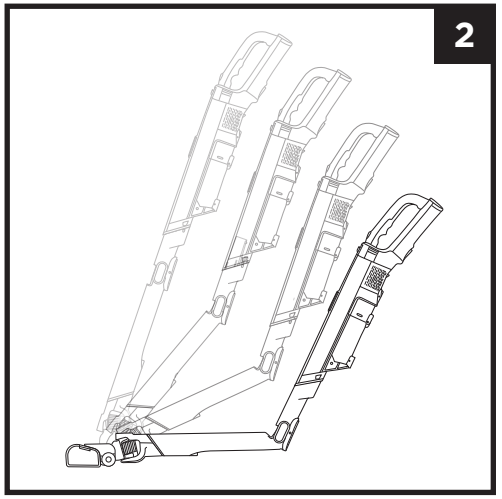
パイプ裏面の最下部にあるノズルリリースボタンを押しながらパイプを電動フロアノズルから引き抜きます。 再度取り付けるには、パイプと電動フロアノズルのネック部の角度を合わせ、カチッと音がするまで差し込みます。

アクセサリーを使用する場合は、カチッと音がするまでパイプに差し込んでからご使用下さい。取り外す際は、ノズルリリースボタンを押しながらアクセサリーを抜きます。

フレックスパイプの使い方（LC950Jのみ）



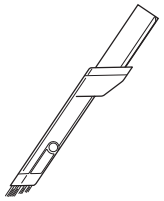
フレックスパイプ裏面の上部にあるロック解除ボタンを押すと、パイプを曲げることができます。



フレックスパイプの角度を曲げることで家具の下などのお掃除を簡単に行うことができます。

フレックスパイプを元の状態にするには、ロック解除ボタンから指を放した状態でカチッと音がするまでまっすぐに戻してください。

付属のアクセサリーの使い方

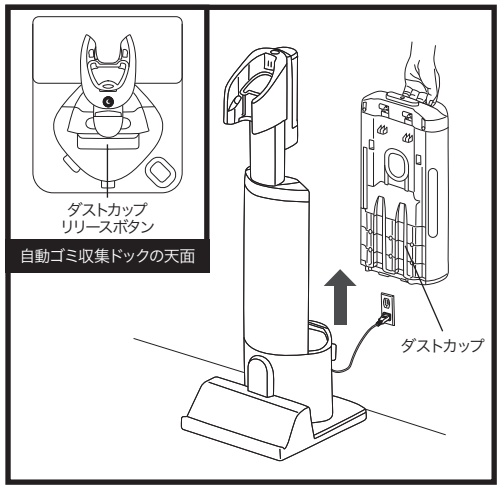


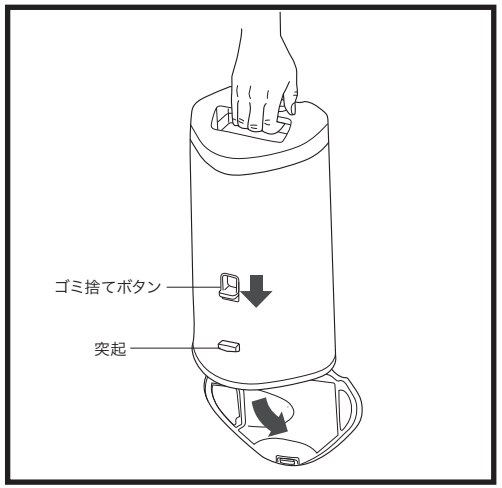
ブラシ付き隙間用ノズル

引き出せるブラシ付きの隙間用ノズル。お部屋の角や巾木、家具の隙間、車内など狭いスペースのお掃除に適しています。

アクセサリーは、ハンディクリーナーにも、パイプにも取り付け可能です。

自動ゴミ収集ドックのダストカップを空にする





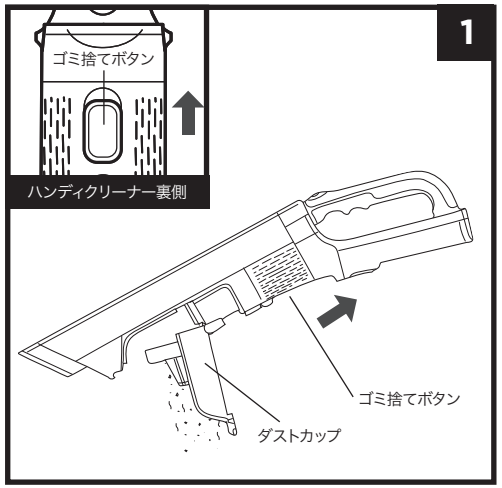
自動ゴミ収集ドックのダストカップは、最大60日分のほこりやゴミをためておくことができます。ご使用状況にあわせて自動ゴミ収集ドックのダストカップを空にしてください。

ダストカップを取り外すには、自動ゴミ収集ドックの天面のくぼみに指先を入れ、くぼみの上部にあるダストカップリリースボタンを押しながら引き出します。

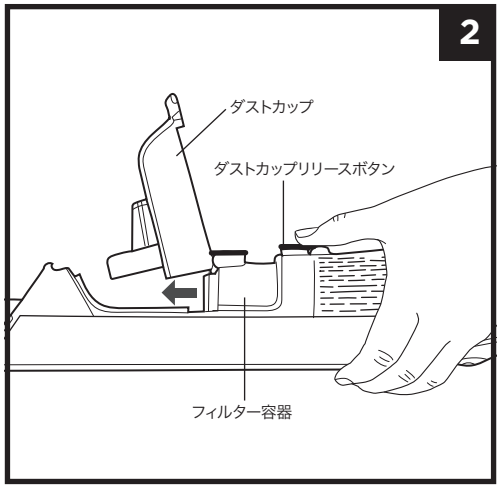
ダストカップを空にするには、ゴミ袋などの中で、ダストカップ背面下側の突起に指をひっかけ、別の指で上側のゴミ捨てボタンを押し下げます。ダストカップのフタが開き、ゴミが放出されたら、軽く叩いてダストカップ内に残っているゴミを取り除きます。

ダストカップを戻すには、フタをカチッと音がするまで閉め、自動ゴミ収集ドックの元の位置に取り付けます。

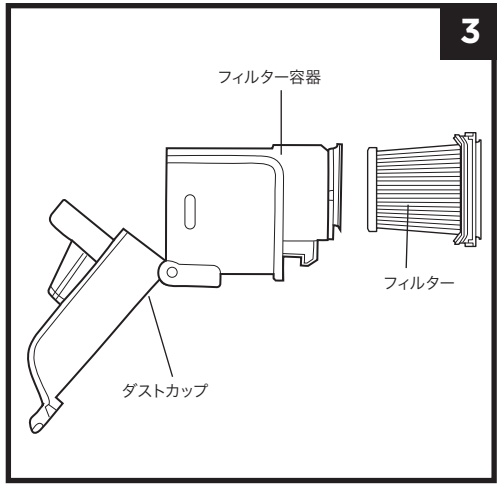
ハンディクリーナーのダストカップとフィルターの清掃



1. 電源がオフの状態で、ハンディクリーナー裏側のゴミ捨てボタンを手前にスライドさせると、ダストカップが開きます。ダストカップにゴミが残っているとゴミが飛び散る場合がありますので、ゴミ箱の上にかざしてダストカップを開いてください。

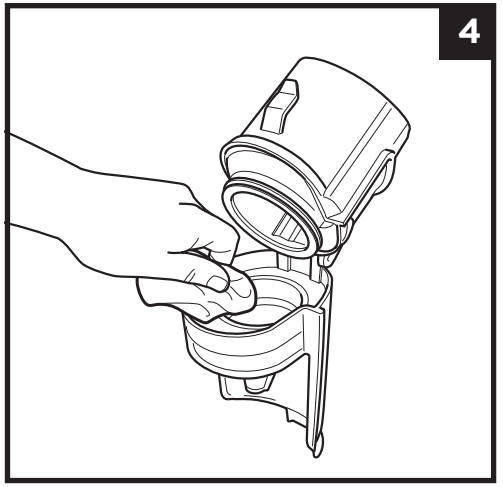


2. 電源がオフ、かつダストカップが開いた状態でダストカップ底部のダストカップリリースボタンを押し、フィルター容器を引き出します。



3. フィルター容器からフィルターを引き出します。フィルターは、水のみを使用して手洗いし、完全に乾いたことを確認してから取り付けてください。季節・環境により乾燥時間は異なります。フィルターが十分に乾いていない状態で使用すると、カビやにおい、故障の原因になります。

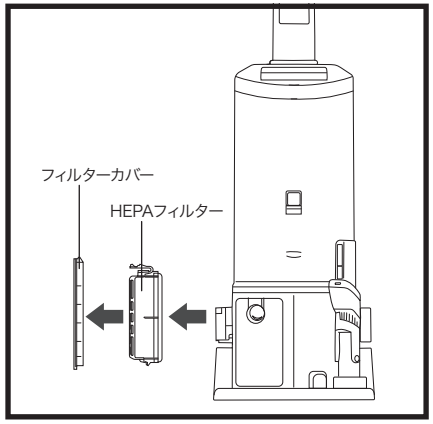
   フィルターを取り付けるには、フィルター容器の中へ戻し、カチッと音がするまで押し込んでください。



4. 取り外したダストカップは、水で洗うか湿らせた布で拭いてください。洗浄後は十分に自然乾燥させてください。

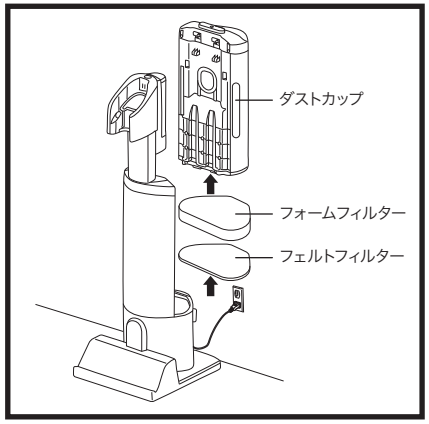
自動ゴミ収集ドックのフィルターのお手入れ

全てのフィルターは1ヶ月に一度を目安にお手入れしてください。



HEPAフィルターは、自動ゴミ収集ドック裏面から見て左側面にあります。フィルターカバーの下部 にあるボタンを引き上げながらカバーを傾けて外し、HEPAフィルターを取り外します。HEPAフィルターを軽く叩いてほこりや異物を取り除き、再度取り付けてください。

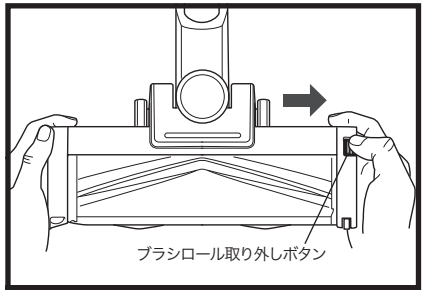
注：HEPAフィルターは水洗いできません。



フォームフィルターとフェルトフィルターは、自動ゴミ収集ドックのダストカップ下にあります。ダストカップを取り外し、フォームフィルターについているつまみを持って取り外し、その下にあるフェルトフィルターも取り外します。1ヶ月に一度、水のみを使用して手洗いし、完全に乾いたことを確認してから取り付けてください。季節・環境により乾燥時間は異なります。フィルターが十分に乾いていない状態で使用すると、カビやにおい、故障の原因になります。

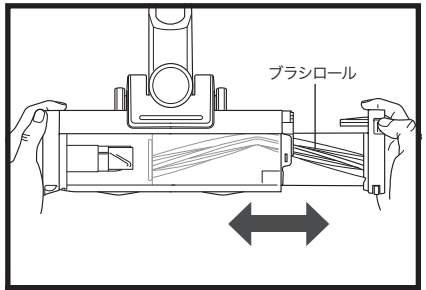
注：使用後のフォームフィルターに汚れは付着しますが、故障ではございません。フィルター類の汚れがひどい場合や、叩いても異物などが取り除けない場合は、新しいフィルターと交換してください。HEPAフィルターは1年に一度の交換をおすすめします。

電動フロアノズルのお手入れ



ブラシロールの取り外し

1. 掃除機の電源を切ります。
2. 電動フロアノズル表にあるブラシロール取り外しボタンを押しながら、ブラシロールを横にスライドして取り外します。
3. ブラシロールを電動フロアノズルに戻すには、カチッと音がするまでスライドして差し込みます。

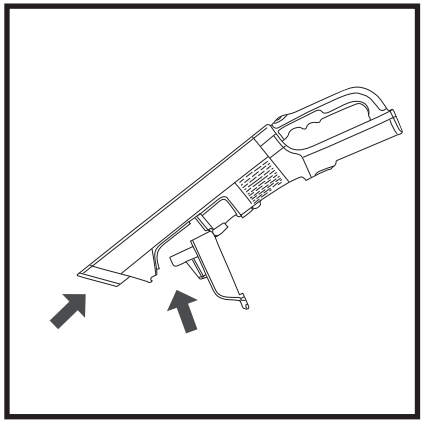


ブラシロールのお手入れ

1. 電動フロアノズルの吸入口やブラシロールから、吸い込みや回転の妨げとなるゴミの塊、こびりついたほこりなどをきれいに取り除きます。

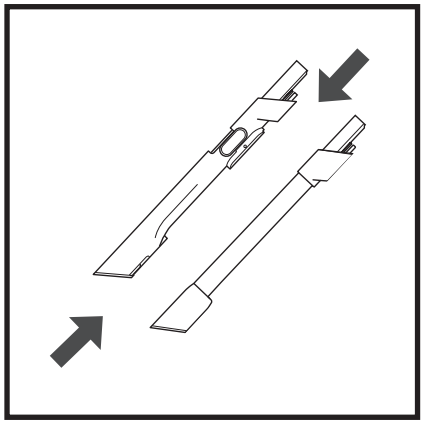
   ブラシロールの汚れがひどい場合は水のみを使用して手洗いし、完全に乾いたことを確認してから取り付けてください。季節・環境により乾燥時間は異なります。十分に乾いていない状態で使用すると、カビやにおい、故障の原因になります。
2. ブラシロールがしっかりと乾いたら、カチッと音がするまで電動フロアノズルにスライドして差し込みます。

ゴミ詰まりの点検



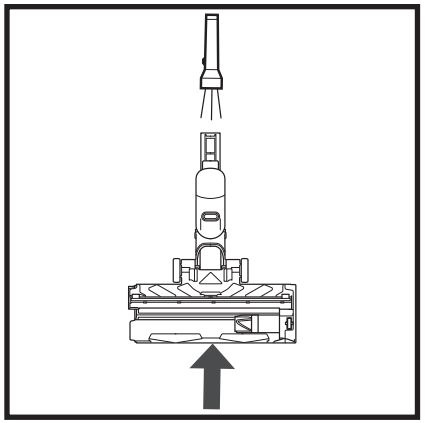
ハンディクリーナーのゴミ詰まりの点検方法:

1. ハンディクリーナーの電源を切ります。
2. ハンディクリーナーからパイプやアクセサリーを取り外します。
3. 吸入口からダストカップまでの経路を点検し、詰まっているゴミや異物を取り除きます。



パイプのゴミ詰まりの点検方法:

1. ハンディクリーナーの電源を切ります。
2. パイプからハンディクリーナーと電動フロアノズルを取り外します。
3. パイプの両端から中を点検し、ゴミや異物が詰まっていないか確認します。
4. ゴミや異物が詰まっていた場合は取り除きます。



電動フロアノズルの点検方法:

1. ハンディクリーナーの電源を切ります。
2. 電動フロアノズルからパイプを取り外します。
3. 電動フロアノズル表にあるブラシロール取り外しボタンを押しながら、ブラシロールを横にスライドして取り外します（P.18）。
4. 吸入口から内部を点検し、ゴミや異物が詰まっていたら取り除きます。
5. ブラシロールを電動フロアノズルに戻すには、カチッと音がするまでスライドして差し込みます。

トラブルシューティング

⚠ 警告: 感電や本製品の思わぬ作動による危険性を減らすため、作業の前には必ず電源を切り、バッテリーを取り外してください。

本製品がゴミを吸い込まない。吸引力が弱い。3つのバッテリーインジケーターの真ん中が黄色く点灯している。

- ダストカップが一杯になっている： ダストカップ内のゴミを捨てて空にしてください。
- 電動フロアノズルにゴミが詰まっていないか点検する： 詰まったゴミを取り除いてください。
- ブラシロールに絡みついている糸くずやカーペットの毛羽、髪の毛を取り除いてください。
- ハンディクリーナーやパイプの吸入経路に異物が詰まっていないか点検する： 詰まった異物を取り除いてください。
- パイプの中に異物やゴミ、ほこりのこびりつきなどがないか点検する： 詰まった異物やこびりついたほこりを取り除いてください。
- フィルターの汚れを点検してください。フィルターを取り外して洗浄した場合の乾かし方や取り付け方はP.17をご覧ください。

カーペットやフロアマットを吸い上げてしまう。

- ブーストモードになっていないことを確認してください（P.13）。また、フロアマットや縁かがりのあるカーペットなどは、注意深くお掃除することをおすすめします。
- カーペットなどを吸い上げてしまった場合は一度電源を切り、カーペットがはがれてから再度電源を入れてください。

電動フロアノズルのブラシロールが回転しない。

- すみやかに本製品の電源を切り、ブラシロールに絡みついたゴミや異物を取り除いてから、再度電源を入れてください。本機の使用中は、お掃除したい面にブラシロールがきちんと接するよう、本機の持ち方で傾き加減を調整してください。

ハンディクリーナーの電源が切れる。

ハンディクリーナーの電源が勝手に切れる場合、吸入経路の詰まり、バッテリーの問題、過熱など、いくつかの原因が考えられます。その場合は、以下の手順ステップをお試しください。

1. ハンディクリーナーの電源を入れ、バッテリーインジケーターを確認してください。もしバッテリーの充電が必要な場合は、充電前にハンディクリーナーの電源ボタンが確実にオフになっていることを確認してください。
2. ダストカップのゴミを捨て、フィルターを清掃してください（詳しくはP.17「ハンディクリーナーのダストカップとフィルターの清掃」をご参照ください）。
3. パイプやアクセサリーの吸入口がゴミや異物によって塞がれていないか、点検してください。もし詰まっている場合は取り除いてください。
4. ハンディクリーナーやバッテリーが過熱している場合、室温程度に冷めるまで少なくとも45分間放置してください。
5. 電源ボタンを押し、ハンディクリーナーを作動させてください。

誤って液体を吸ってしまった。

- 感電・ショート・発火等の原因になりますので、すみやかに本製品の電源を切り、バッテリーをハンディクリーナーから取り外してください。
- 掃除機の吸込口などの水に濡れたすべての箇所をタオルや柔らかい布でふき取り、自然乾燥で完全に乾かします。
- 掃除機からダストカップ、フィルター容器およびフィルターを取り外し、水洗いしてからタオルや柔らかい布などで水分をふき取り後、自然乾燥で完全に乾かします。
- 各パーツが十分に乾いたのを確認し、パーツおよびバッテリーを取り付けて本機の試運転を行います。異臭や作動しないなどの異常が発生した場合はただちに電源を切り、バッテリーを取り外してからシャークニンジャカスタマーサポートまでご連絡ください。

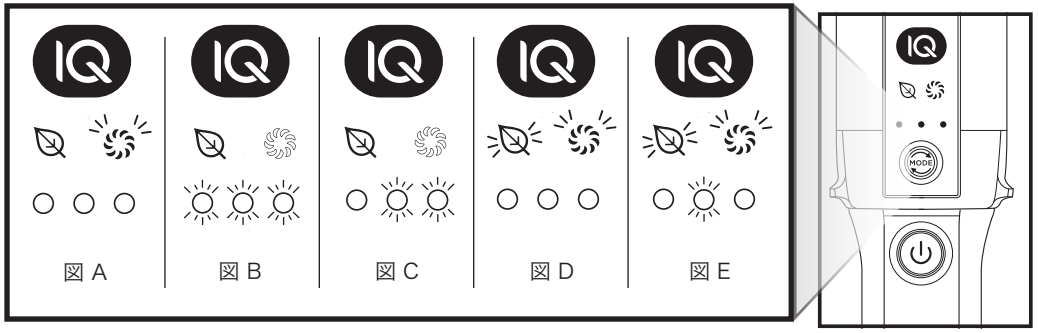
注: これらの手順を踏んでも正常に動作しない場合は、シャークニンジャカスタマーサポートまでご連絡ください。

トラブルシューティング

iQアイコンが赤色に点灯、かつ下記に該当するバッテリーインジケーターやアイコンが点滅している。

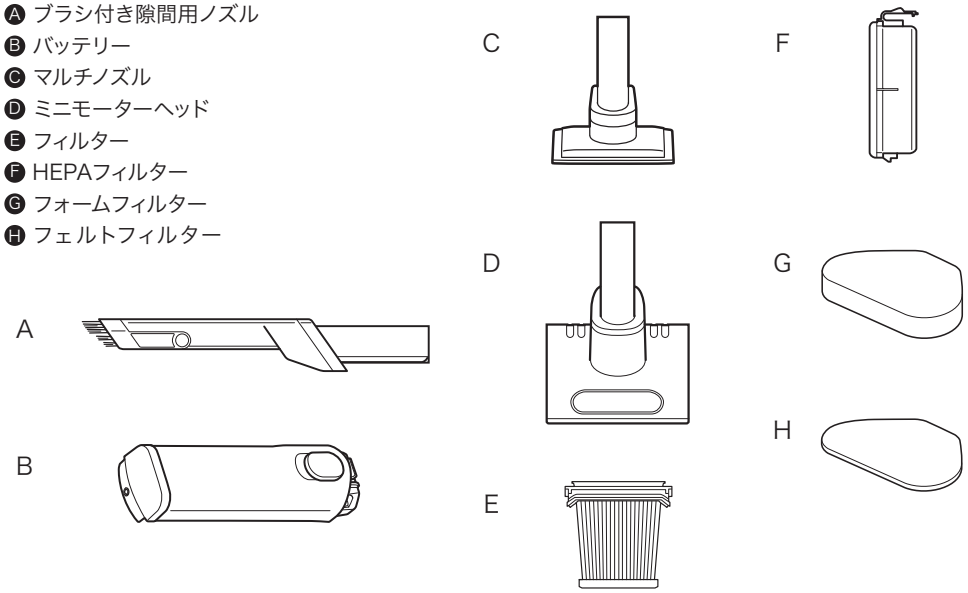
- 図A｜ブーストモードのアイコンが点滅している： ノズルなどの詰まり（P.19「ゴミ詰まりの点検」をご参照ください）。
- 図B｜バッテリーインジケーターがすべて点滅している： 内部エラー。
- 図C｜右と中央のバッテリーインジケーターが点滅している： モーターがオーバーヒート。
- 図D｜エコモードとブーストモードのアイコンが点滅している： iQセンサーの不具合。
- 図E｜エコモード、ブーストモード、中央のバッテリーインジケーターが点滅している： エッジセンサーエラー。エッジセンサーを乾いた布で拭いてください。

※図B、図C、図Dの状態で点滅している場合は、シャークニンジャカスタマーサポートまでご連絡ください。



交換部品とアクセサリー

- Ⓐ ブラシ付き隙間用ノズル
- Ⓑ バッテリー
- Ⓒ マルチノズル
- Ⓓ ミニモーターヘッド
- Ⓔ フィルター
- Ⓕ HEPAフィルター
- Ⓖ フォームフィルター
- Ⓗ フェルトフィルター



交換部品やアクセサリーの注文については sharkninja.jp をご覧ください。

Shark®

保証書（2年間保証）

２年間保証は、シャークニンジャ合同会社（以下「当社」）の正規販売店からご購入いただいた製品に適用されます。保証の適用対象は、ご購入いただいた原所有者及び本製品のみであり、他に譲渡することはできません。また、リチウムイオンバッテリーは保証の対象外となります。

当社はお客様が購入された上記製品（以下「本製品」）について通常の家庭での使用条件の下で使用され、取扱説明書に記載された条件に従いお手入れが行われていることを前提としてご購入日から2年間、材質上または製造上の不具合に対する保証を提供します。ただし、下記の条件及び例外に従うものとします。

本保証書は、保証期間中本保証書に記載の条件に従って無償で修理または交換が行われることをお約束するものです。そのため、この保証は保証者（本保証書を発行した者）及びその他の関係事業者に対する、お客様の消費者としての法律上の権利に影響を及ぼすものではありません。

保証登録

この保証を受けるためにはご購入日から30日以内にお客様のご連絡先及び本製品のシリアル番号をご登録いただく必要があります。
また、当社によるサービスの提供が迅速かつ効率的に行えるよう、お客様の領収書、購入日の記録及び納品書を安全な場所に保管してください。

登録方法

製品本体のQRコードをスマートフォンなどで読み取り、製品の型式を選択して入力フォームに従って登録をお願いします。
ご登録いただいた連絡先の変更が必要となった場合には、シャークニンジャカスタマーサポート（以下「カスタマーサポート」）までご連絡ください。
（電話番号：0120-522-552 ）

保証が適用される場合

1. 当社の判断により不具合があると認めた本製品または非消耗品について、最初のご購入日から2年間修理または交換を行います。
2. 万が一、本製品が交換となった場合、この保証は、交換品の受領日から6ヶ月後か元の保証期間の満了日のうちいずれか遅い方の日に終了します。当社は本製品が交換となる場合には本製品と同額か同額以上の他の製品との交換を行う権利を有します。
3. 修理または交換のために不具合のある本製品、または部品を当社にお送りいただく際の送料と、当社からお客様に製品または部品を返送する際の送料は、当社が負担します。

保証適用外となる場合

2年間保証の期間内であっても以下の場合の修理または交換は有償です。また、リチウムイオンバッテリーはこの保証の対象外です。

1. 本製品の正常な機能を維持するために日常的なお手入れ、または交換を必要とする消耗品が通常の使用に伴って損耗または摩耗したことにより修理または交換が必要となった場合
2. 本製品またはその部品が改造された、または商業的に利用された場合
3. 本製品の誤使用、乱用若しくは不注意な取扱い、または運搬中の不適切な取扱いにより本製品に不具合または損傷が生じた場合
4. 本製品の配送に起因して本製品に不具合若しくは損傷が生じた場合、または本製品若しくはその部品に対する修理、サービス若しくは改造（当社が承認した業者による場合を除きます）に起因して本製品に不具合若しくは損傷が生じた場合
5. 本製品が日本国外で購入され、使用され、または稼働された場合
6. 火災、洪水、地震、落雷、暴風、ガス事故、異常電圧、停電その他の不可抗力により本製品に不具合または損傷が生じた場合
7. 当社の求めにもかかわらず、本保証書をご提示いただけない場合
8. 本保証書に従って保証登録が行われていない場合
9. お客様の製品のシリアル番号と本保証書に基づいてご登録いただいたシリアル番号が同一であることが確認できない場合
10. お客様の保証の請求が本保証書及びカスタマーサポートからのご案内に従って行われていない場合

保証請求の方法

保証の請求を行うには、下記のカスタマーサポートまでお電話にてご連絡ください。カスタマーサポートの専門スタッフが対応いたします。
またその際、製品等の返送及び梱包の方法についてもご案内いたします。

カスタマーサポートの情報　電話番号：0120-522-552
カスタマーサポートの営業時間についてはsharkninja.jp/support をご覧ください。
カスタマーサポートでは、交換部品のご購入及び消耗品と非消耗品の分類に関する情報もご確認いただけます。
また、ご自身での製品のお手入れ・メンテナンスに関する情報については、shark.co.jp をご覧ください。

お客様のプライバシーについて

当社は、この保証に関して提供されたお客様の情報を、以下の目的にのみ使用いたします。
・購入商品に関連するアフターサービスの提供。
・お客様のお問い合わせまたはご要望への回答などのカスタマーサポートの提供。
・ダイレクトメール、電話、電子メールによる新製品、イベント及びサービスに関する情報の提供。
・製品の品質及びサービスの向上のためのアンケート及びモニタリングなどの調査の実施。
・ウェブサイトへのアクセス、操作性等のウェブサイトの改善。　・個人が特定されない統計データの作成、開示及び公表。
お客様のプライバシーの保護については、当社のプライバシーポリシー（sharkninja.jp/privacy）もご参照ください。

シャークニンジャ合同会社

〒150-6222　東京都渋谷区桜丘町1-1　渋谷サクラステージ SHIBUYAタワー22階
電話番号：0120-522-552（カスタマーサポート）
受付時間：9：00～17：30（年末年始、その他大型連休等除く）

購入証明書／保証書貼付用レシートなどの保管にお使いください

製品登録

ハンディクリーナーの裏面にある右のラベルからQRコードを読み取り、製品登録してください。保証やお問い合わせの際に便利です。

※右のラベルはイメージです。実際のラベルの形状とは異なる場合があります。

Model:
XXXXX
Scan to Register
Sample
S/N:
XXXXXXXXXXXX

製品情報を以下にご記入ください（お客様控え） ※モデル番号とシリアル番号は上記ラベルで確認できます。

型式／モデル番号： **Shark コードレススティッククリーナー LC9** □□ J □□

シリアル番号： S/N: □□□□□□□□□□□□

購入日： 西暦 □□□□ 年 □□ 月 □□日

購入店舗： _____

（レシートは保管しておいてください）

取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
本取扱説明書は、お客様のコードレススティッククリーナーが十分に性能を発揮し、末永くお使いいただけるようにするためのものです。

ご不明な点がございましたら、シャークニンジャカスタマーサポートまでご連絡ください。

シャークニンジャ合同会社
シャークニンジャカスタマーサポート **0120-522-552**
受付時間 9：00〜17：30（年末年始、その他大型連休等除く）
sharkninja.jp

Shark®

SHARK は SharkNinja Operating LLC の登録商標です。
画像はイメージです。実際の商品とは異なる場合があります。
当社では常に製品の改良に努めているため、本書に記載される仕様は予告なしに変更されることがあります。
SharkNinja米国特許情報については、www.sharkninja.com/patents/ をご覧ください。

LC900J_Series_IB_MP_Mv15